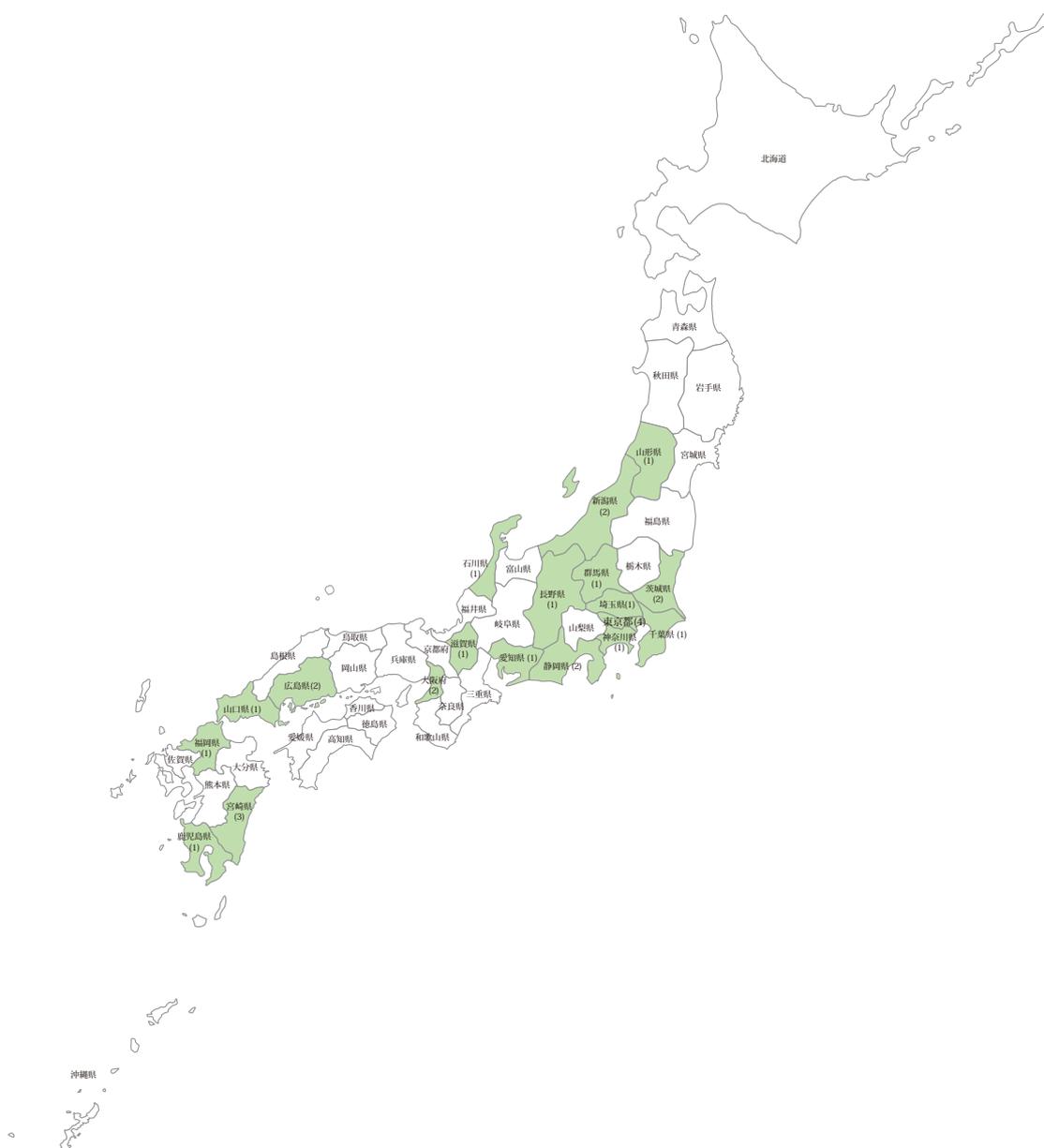


## 地域薬剤師会の基本プロフィール調査結果

### ● 回答いただいた薬剤師会の地域別分布 ●



### ● アンケートの発送数—回答—回収率 ●

発送数（薬局団体連絡協議会で住所のわかっているところ） 499 通

郵送したが戻ってきたもの 8 通

回答のあった地域薬剤師会 29

回収率 5.9%

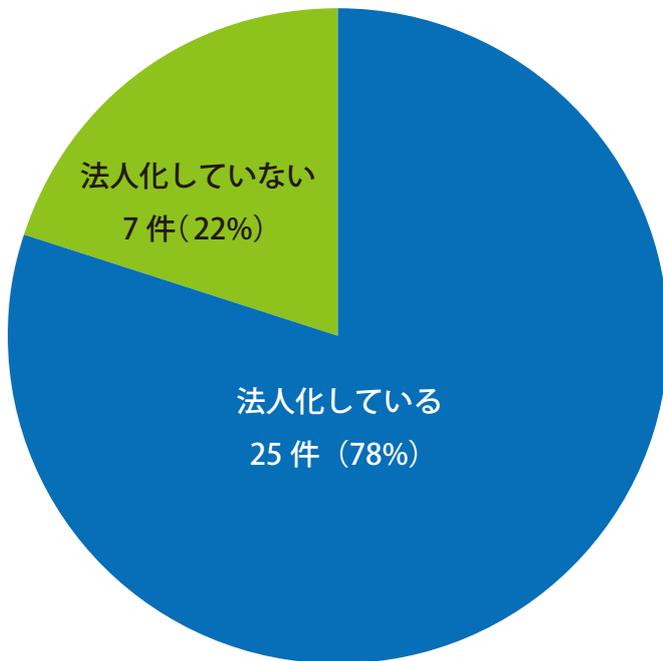
（都道府県薬剤師会からの回答も 3 都道府県ありましたが、

数には入っておりません）

# ● 地域薬剤師会の基本プロフィール調査 ●

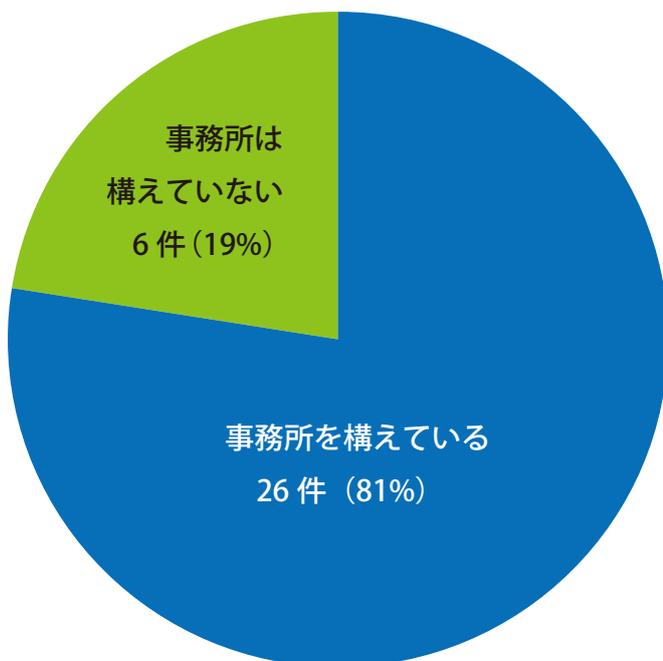
(2024年8月時点)

## 1) 法人化している



- 法人化している 25件 (78%)
- 法人化していない 7件 (22%)

## 2) 地域薬剤会として事務所を構えているか



地域薬剤師会としての

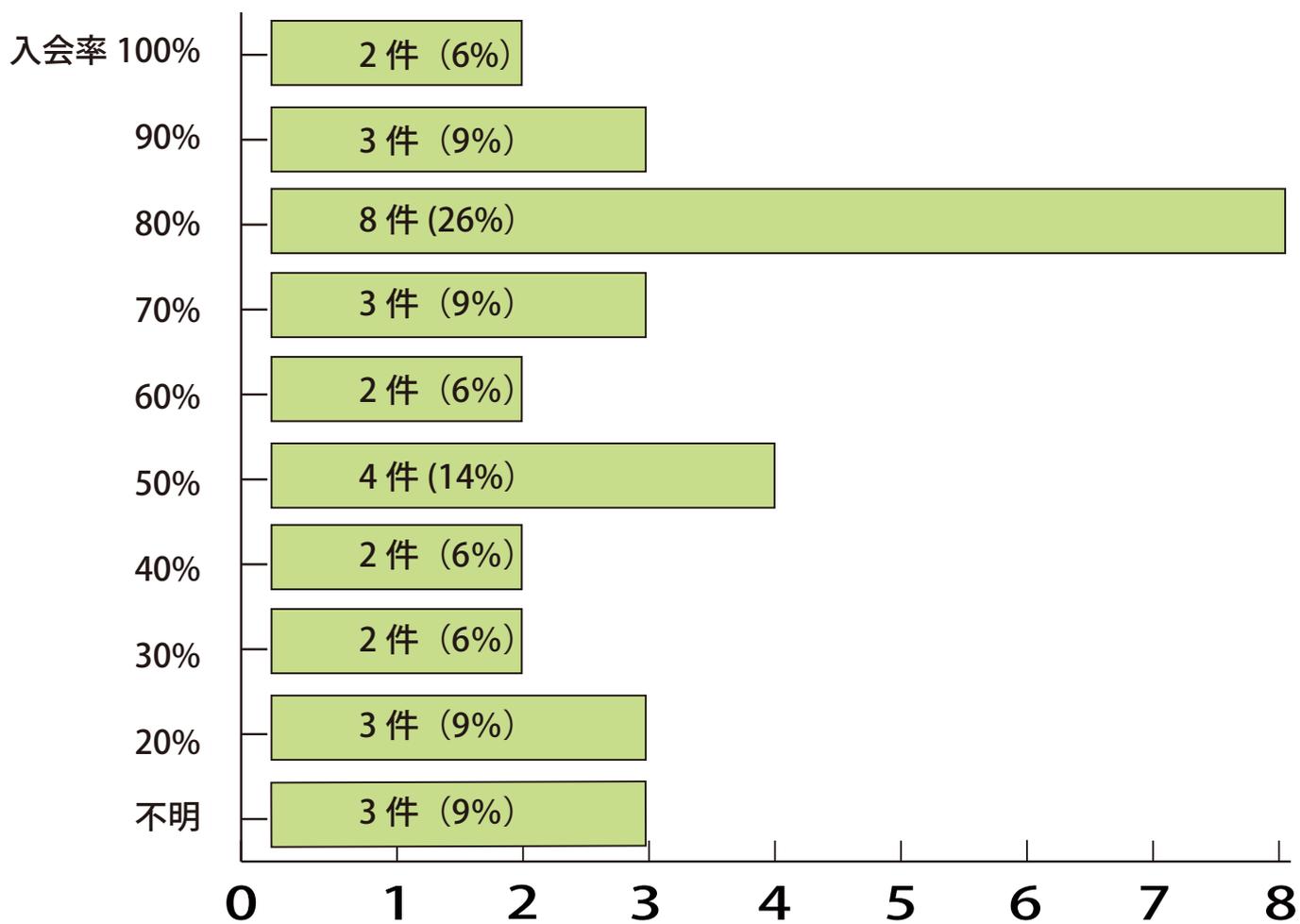
- 事務所を構えている 26件 (81%)
- 事務所は構えていない 6件 (19%)

\*事務所は構えていない場合は

どのようにしているのか

- ・薬局を事務局代わりに
  - 会長所属薬局を代用
  - 会計担当者の薬局を事務局としている
- ・役員をLINEでグループ化

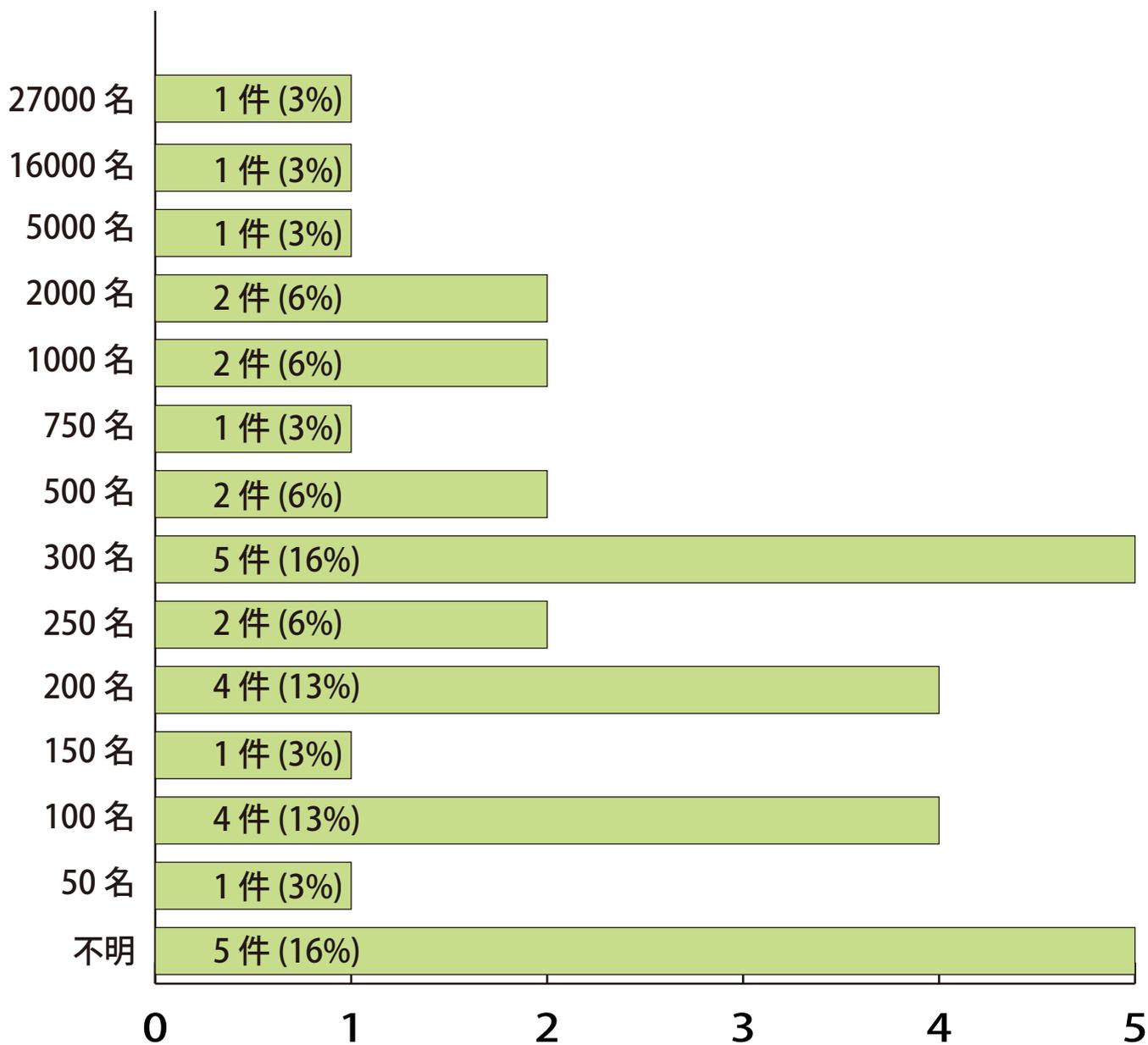
3) 入会率 (%で回答 \*グラフは%を四捨五入して件数換算)



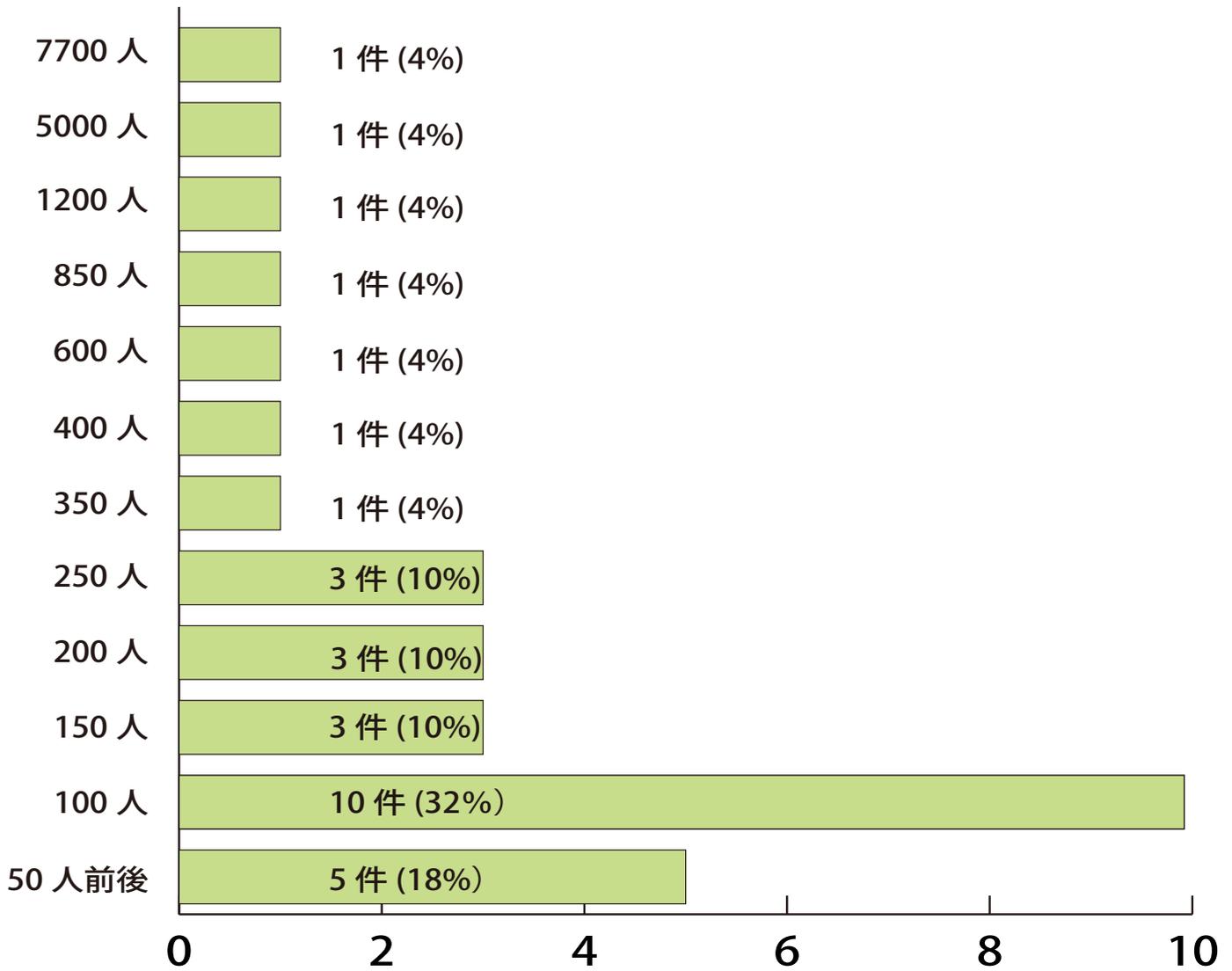
・該当地域の全薬剤師数（全薬剤師数が不明の場合は概数）

\* グラフは 1000 以下は 50 単位で四捨五入

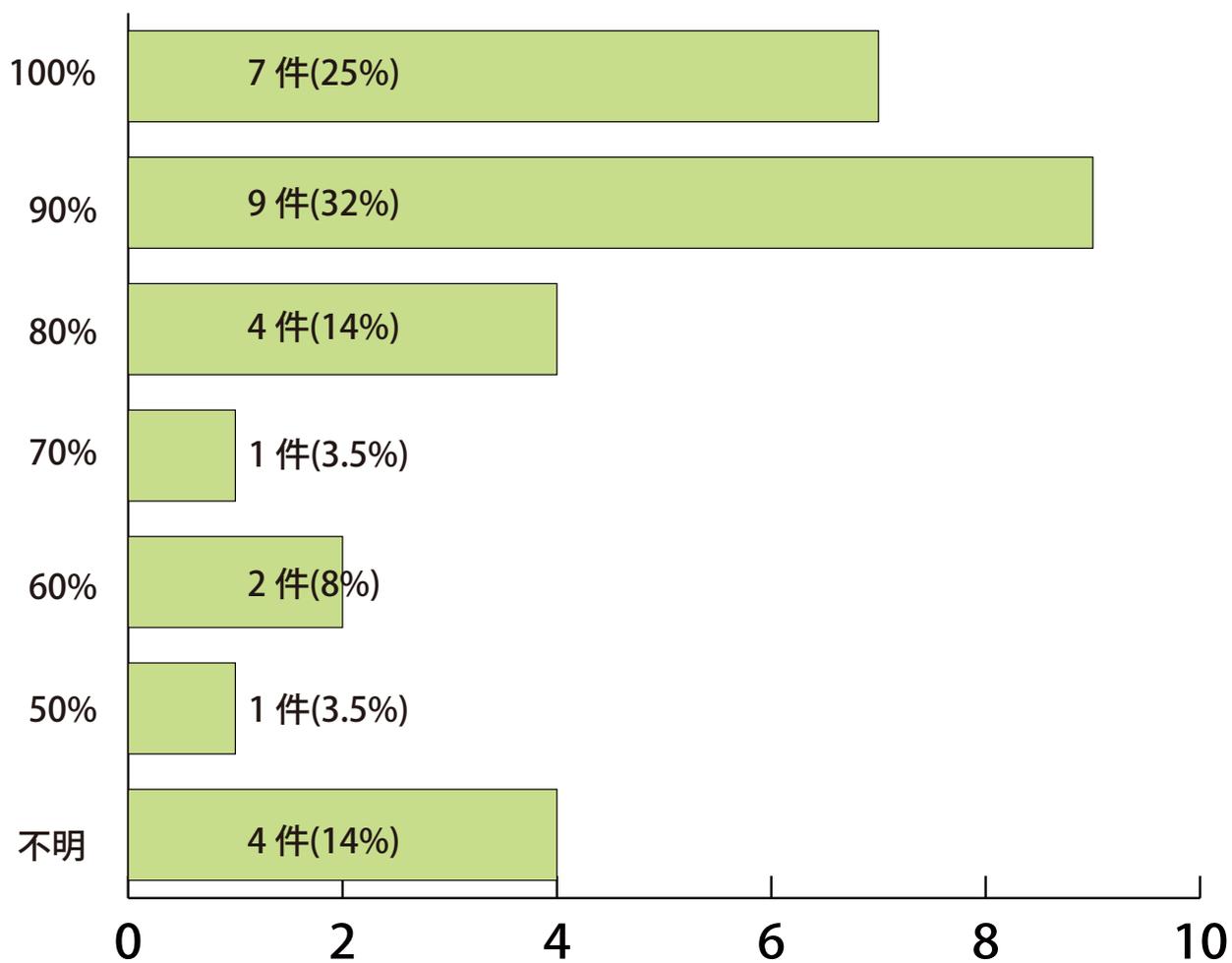
1000 以上は 500 単位で四捨五入



・加入薬剤師数 \*グラフは 50 単位で四捨五入



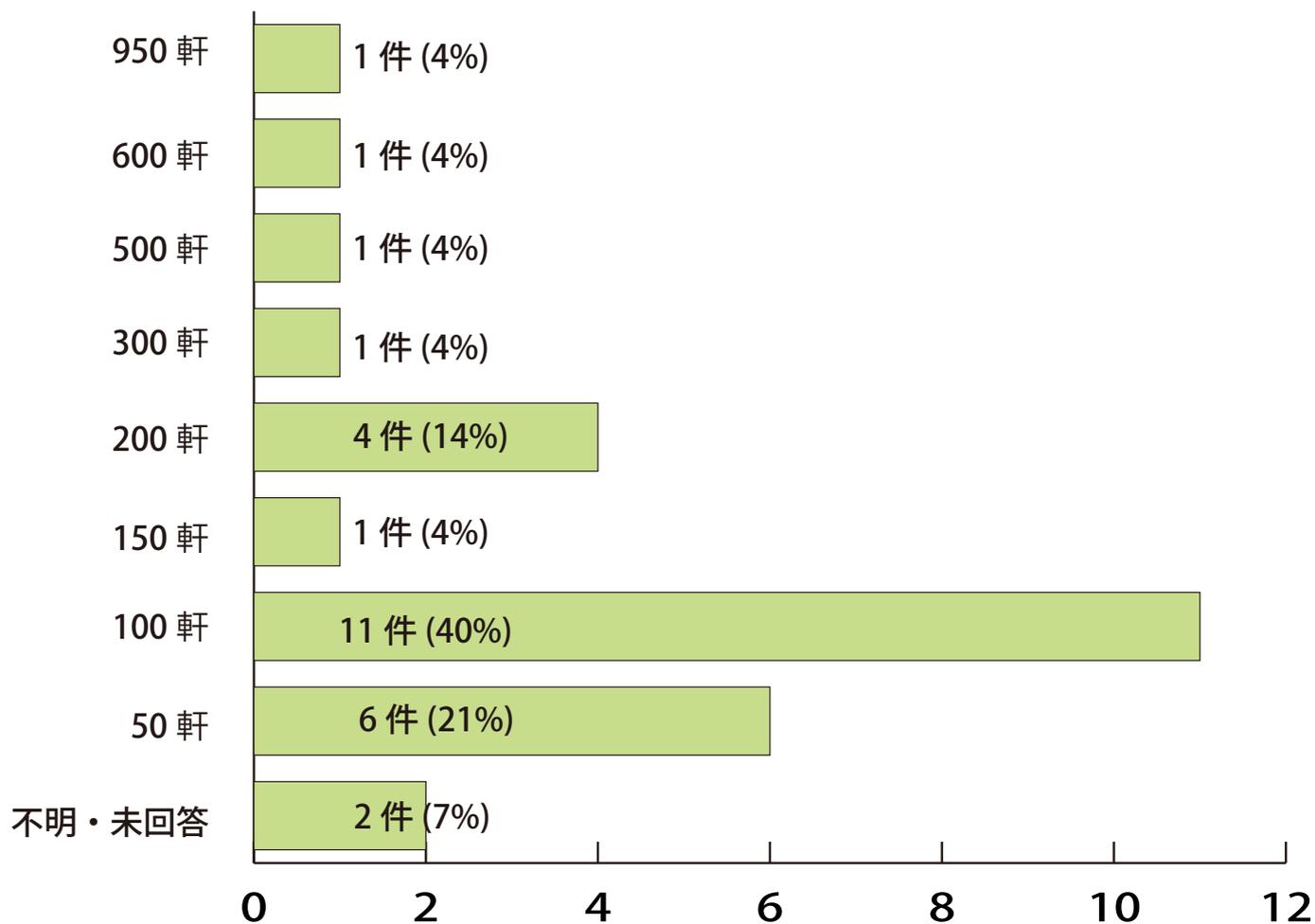
#### 4) 保険(開局)薬局部会等会内組織率 入会件数



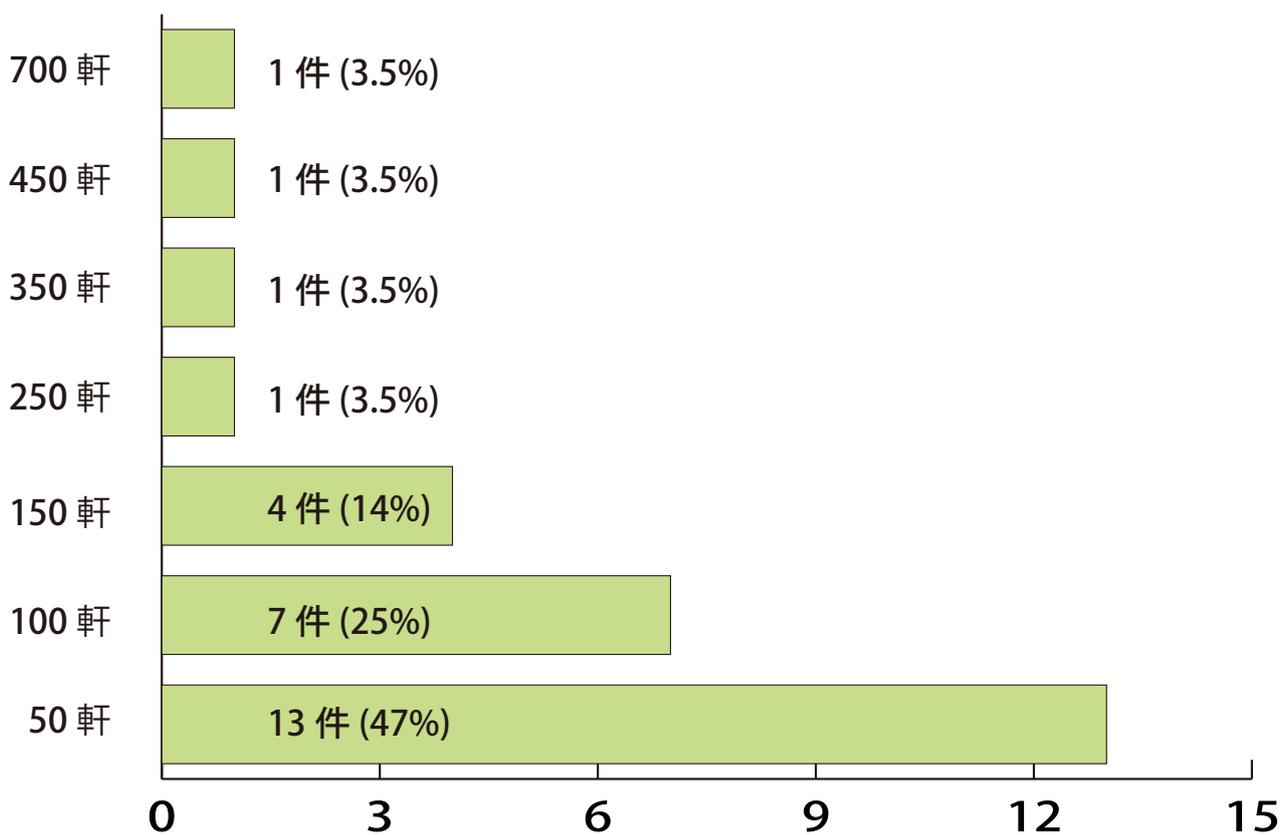
\* 未回答など、該当する組織がないなど4件

・該当地域の全薬局数（全薬局数が不明の場合は概数）

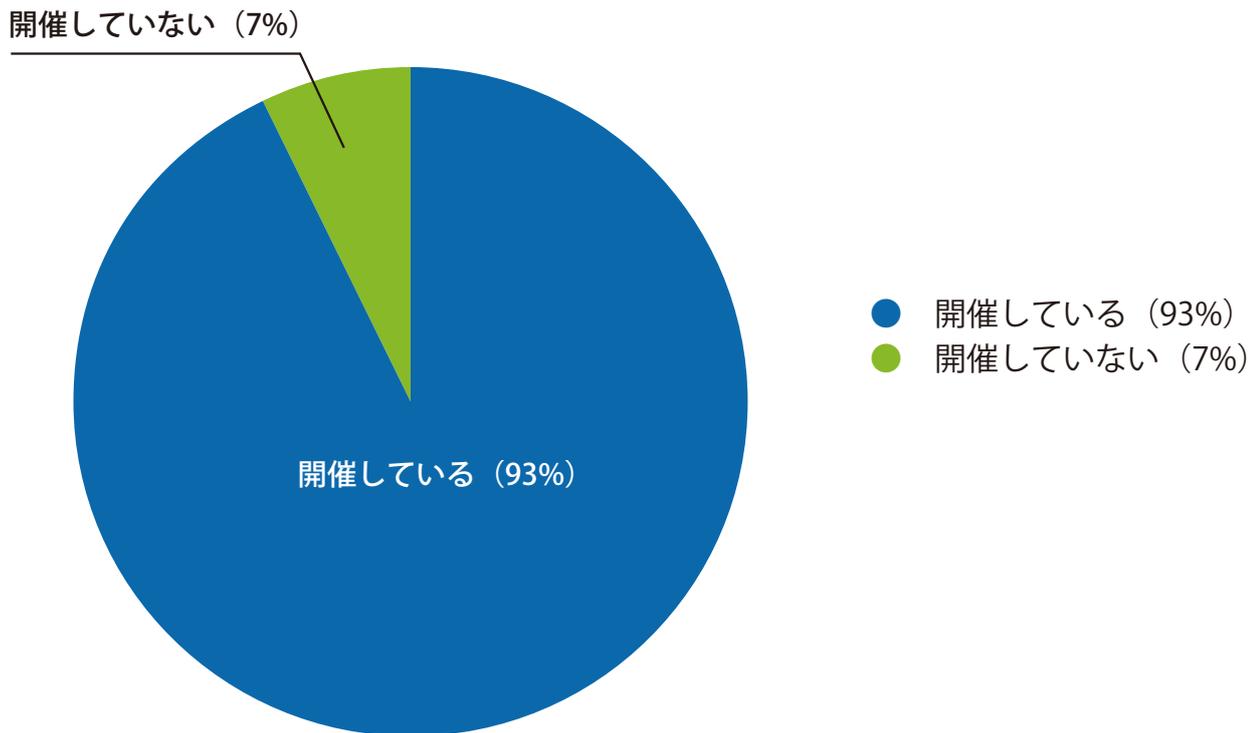
\* グラフは 50 単位で四捨五入



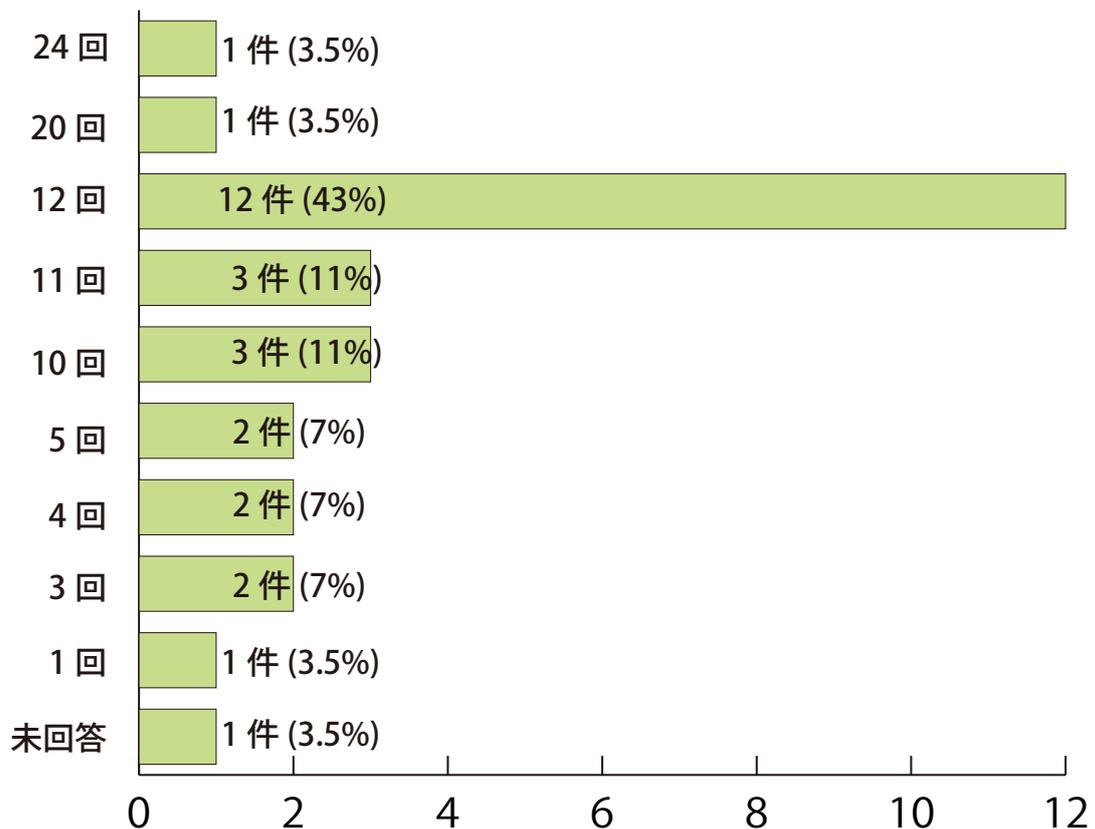
・加入薬局店数 \* グラフは 50 単位で四捨五入



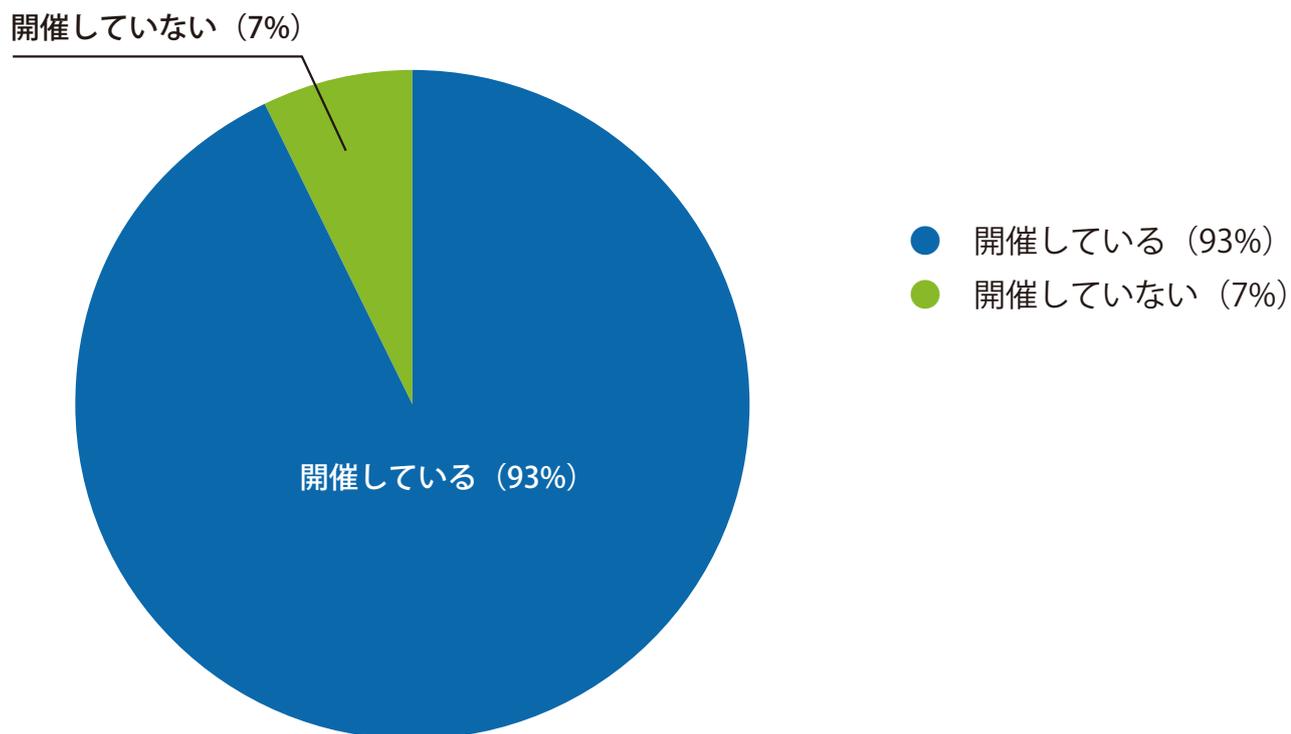
### 5-1) 直近1年間における地域薬剤師会の役員会の開催



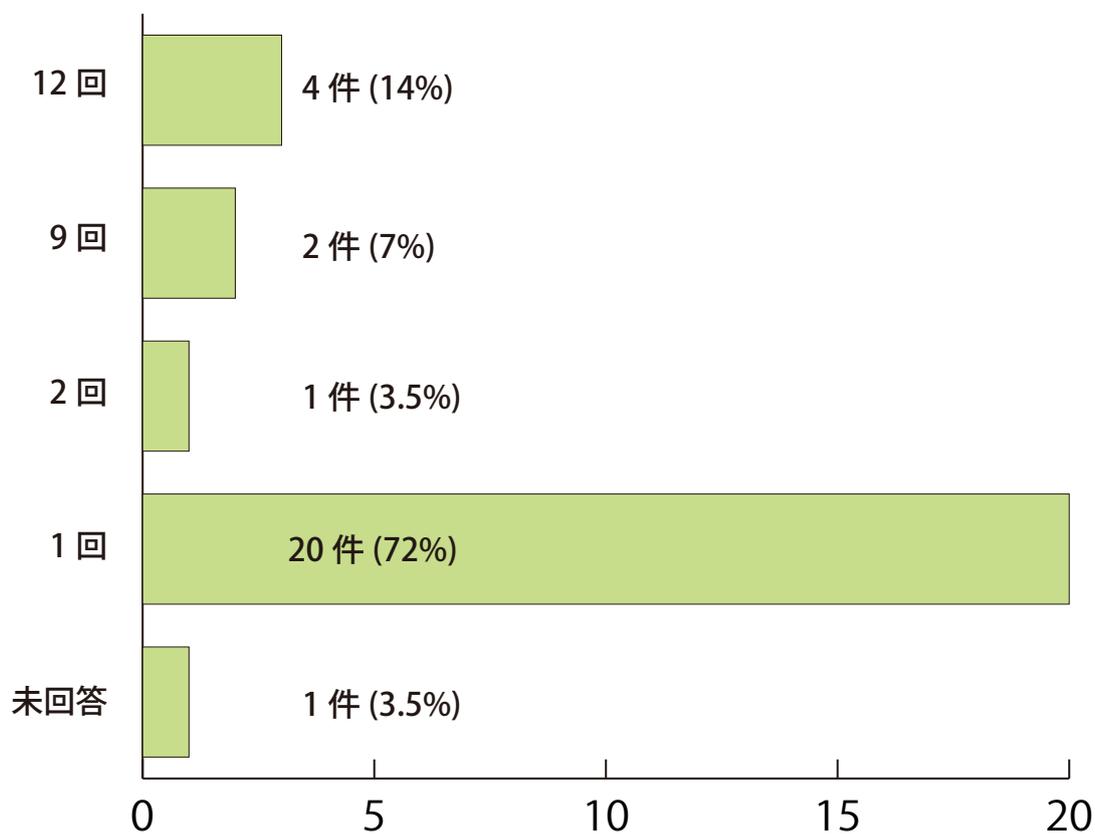
#### ・役員会は 年に何回開催しているか



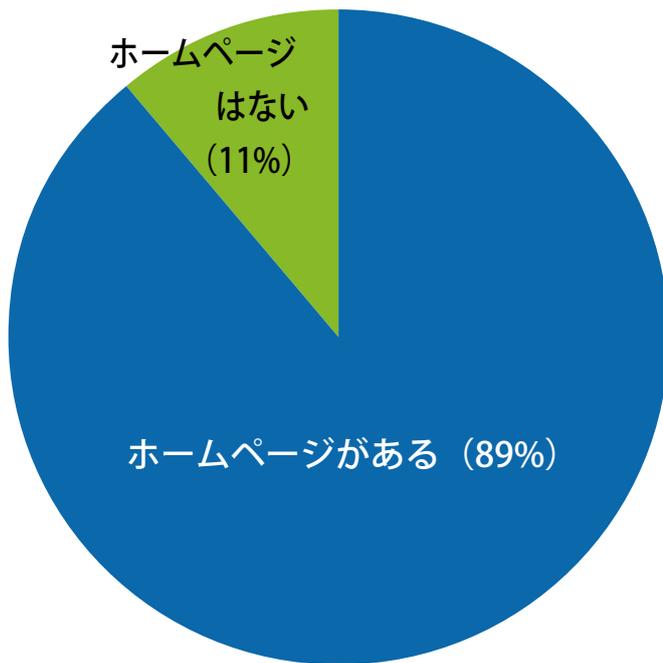
## 5-2) 直近1年間における地域薬剤師会の会員例会の開催



### ・会員例会は 年に何回開催

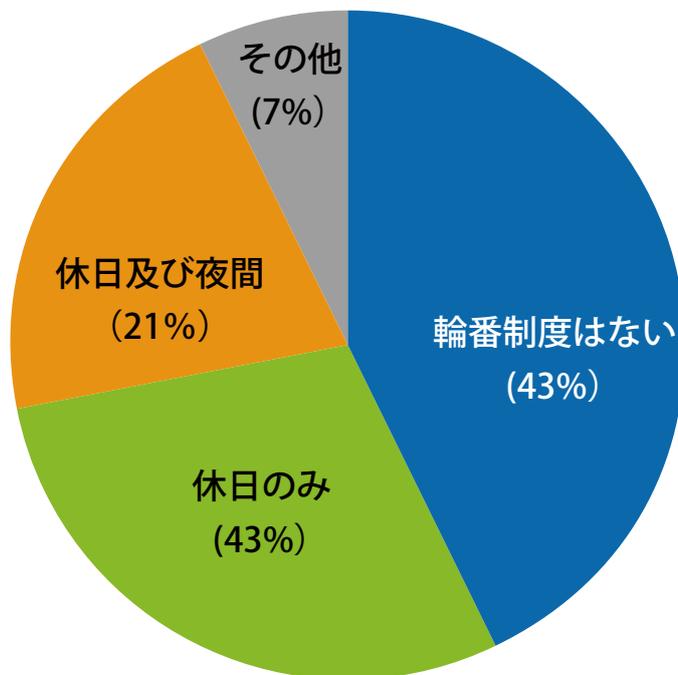


## 6) 独自のホームページの開設



- ホームページがある (89%)
- ホームページはない (11%)

## 7) 薬局輪番制度

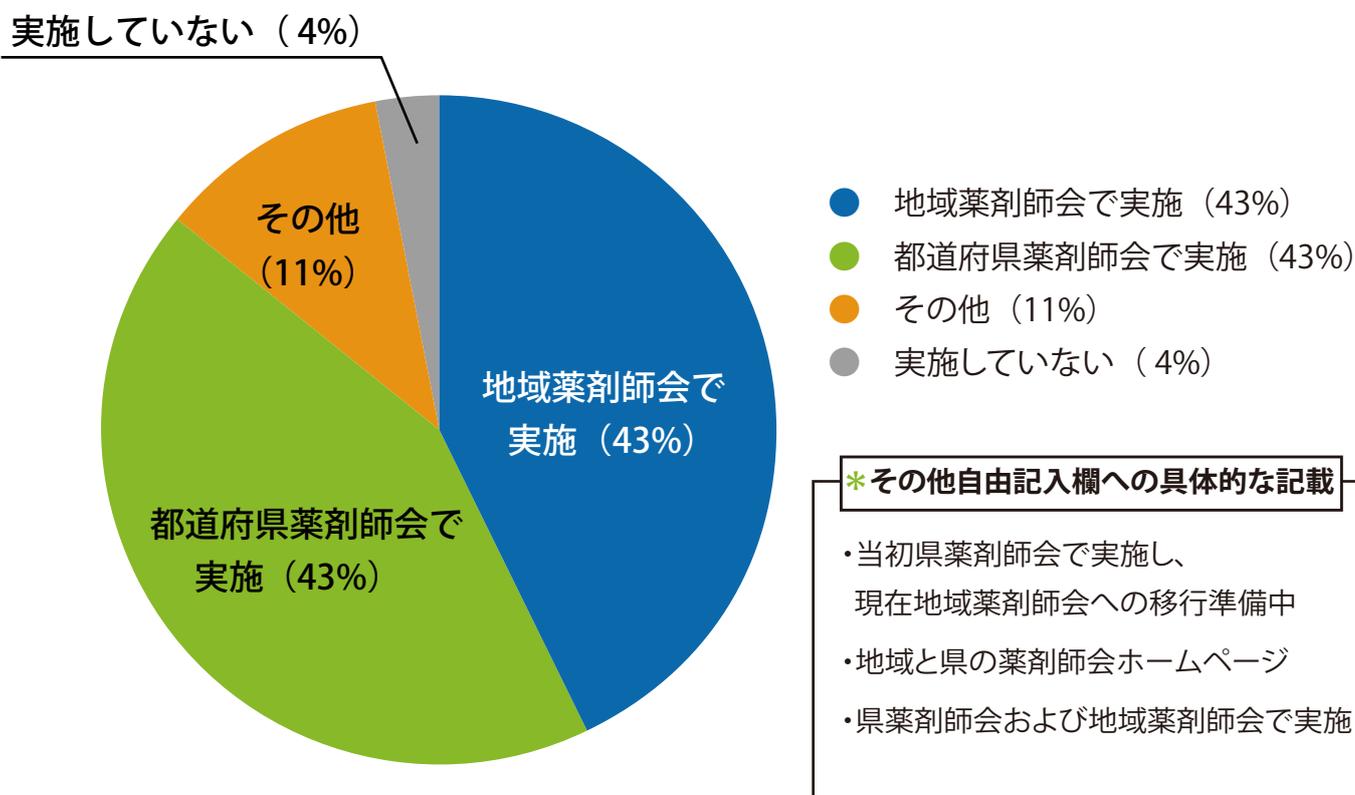


- ない (43%)
- 休日のみ (29%)
- 休日及び夜間 (21%)
- その他 (7%)

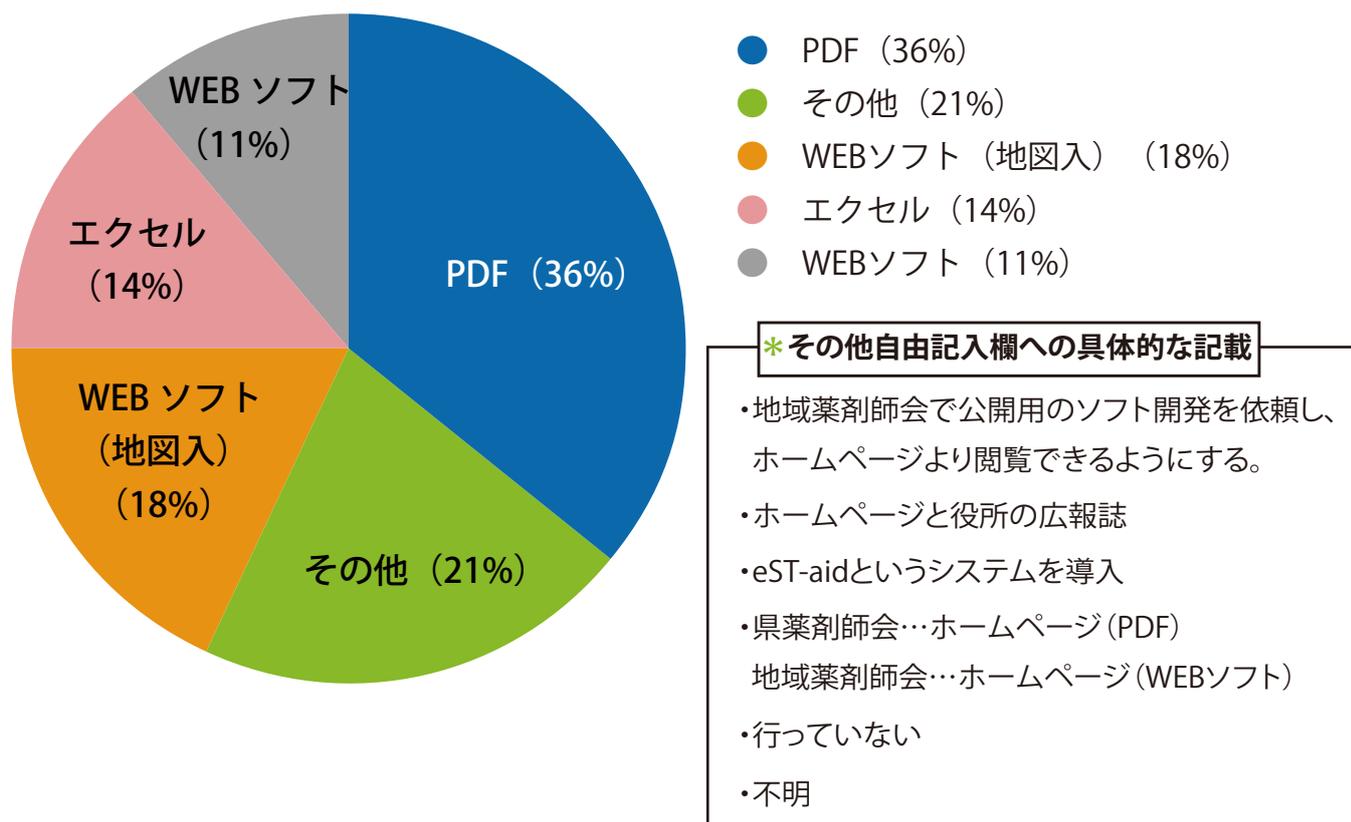
### \*その他自由記入欄への具体的な記載

- ・3市で異なる
- ・会営薬局を2店運営しており、その店舗に会員が当番出勤をしながら、夜間と休日対応を行っている。

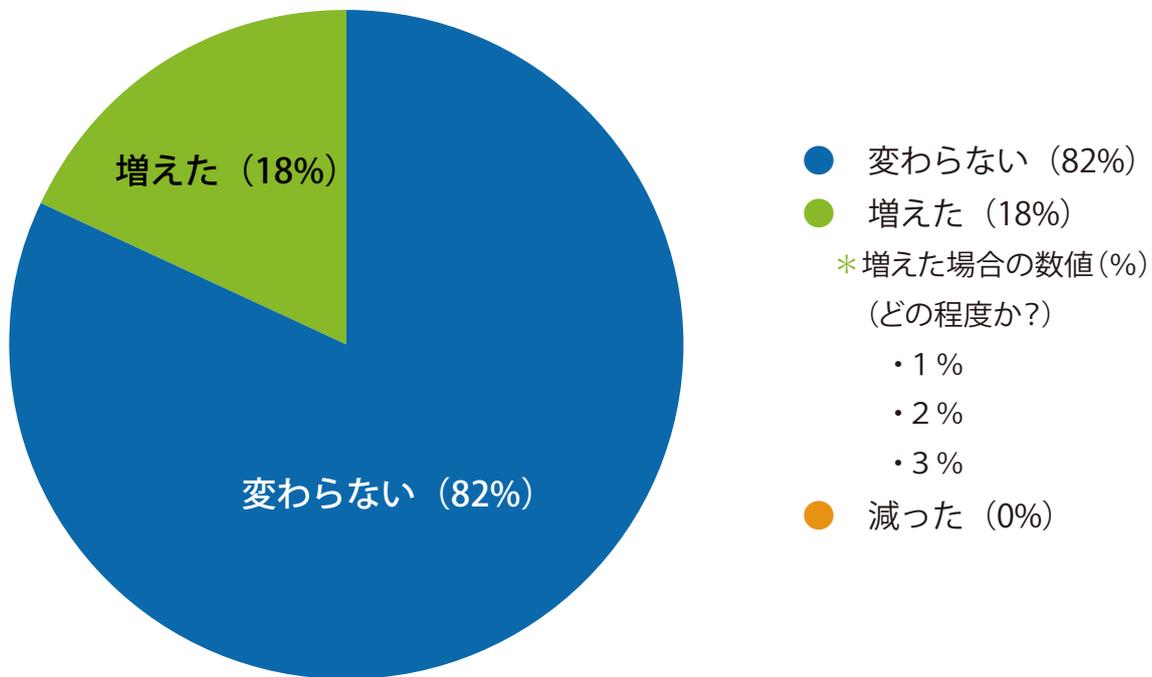
8) 2024年度調剤報酬改定で夜間・休日や在宅を行なっている薬局を、地域住民へ公表することが薬剤師会に求められましたが、どのようにしていますか。



9) 上記の公表ですが、どのような形式で行なっていますか



10) 上記の地域住民への公表の実施により薬剤師会加入者に変動はありましたか。



## 11) 地域薬剤師会としてお困りのことなど（自由記入） 掲載順不同

- 担い手の確保
- 安定した組織運営を行える、財源的確保に苦慮している
- 役員の成り手、会費減少に伴う会運営、fax コーナー運営危機（県が担うべき）
- 問4) について
  - ・ 都道府県薬剤師会なので、保険薬局部会は存在していません。
  - ・ 保険薬局部会等の組織率は回答できません。保険薬局部会ないため
- 非会員までも情報公開をせよという、お役所の態度
- 正確な会員数の把握が難しいことがある（異動や退会、入会の届け出が随時あるため）
- 会員との連絡手段（全ての薬局がメールアドレスを登録しているわけではなく、FAX とメール両方の手段にて連絡を行うので手間がかかる。タイムラグも生じる）
- 事務局の運営及び事業の経費の問題（限られた会費の中でのやり繰りが大変である）
- 会員の高齢化、新規入会者の減少
- 管理薬剤師以外の薬剤師が把握できない。またその未加入率。
- 地域における潜在的な薬剤師不足。
- 会員を増やしたいが中々増えない。
- 地域での価値があがり、また、運営費という観点で支出がどんどん増えている。
- 三師会の連携が、医師会が一つにまとまっていないこともあり、推進しにくい。
- 県内における他の地域薬剤師会との規模に差があるため、県薬との連携という観点で意見交換が困難な場合もある。
- 開局薬剤師が減り、サラリーマン薬剤師が増えると、移動も多く、役員を務めてくれる人材減少。
- 会に入会するメリットを上手く伝えられない。
- 政治や選挙に関する興味、関心が薄い。
- 保険薬局は管理薬剤師のみの入会が多く、勤務薬剤師の会員が少なく、活動に制約がある（特に学校薬剤師）
- アンケートに対することではございませんが、今回いただいたシンポジウムのご案内について、参加を希望したいが、地方からの参加ですと移動面なども考慮しなければならないため、参加を断念せざるを得ない者も多くいると考えます。  
つきましては、各学会や講演会・研修会など同様に WEB 配信やアーカイブ配信などもご検討いただき、ぜひ、地方の者へのご配慮いただけますと幸いです。
- 大手チェーン薬局やドラッグストアの勤務薬剤師に研修案内や情報発信したり、会務（地域活動など）の協力をしてもらったり、したいができていない。